

パンフレットの送付と活用・普及のお願い

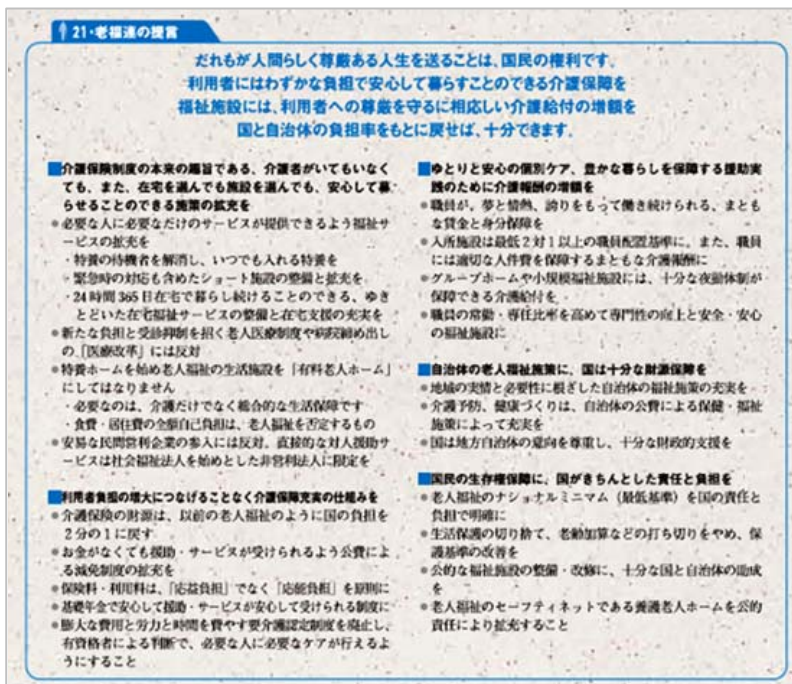
平素は21・老福連の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今回21・老福連が製作しましたパンフレットは、老人福祉がおかれている現状をもとに、今後のあり方や提言・展望について整理をおこない、誰もが安心できる老人福祉を築くために、広く問題を提起した冊子となっております。

とりわけ、この間の制度改訂に伴う問題点を明らかにするとともに、老福連としての積極的な提起を含めるものとなっております、3回目の改訂にむけて、この秋からの活動の中心として位置づけております。

つきましては、職員のみならず、利用者・ご家族、地域関係者のみなさまとともに、学習資料としてご活用くださいますようお願い申し上げます。

また、本パンフレットをみなさまの近隣の関係施設等へも配布・普及いただき、お力添えくださいますようお願い申し上げます。



なお、追加発注も一部30円で受け付けております。(厚かましいお願いですが、追加発注は50部以上とさせていただきます)一人でも多くのみなさまにお読みいただければと思っておりますので、追加のお申込みお待ちしております。

ぜひ、ご一読いただき、ご批評・ご意見とともに、活用した活動内容や読まれた方の反応、効果などをご報告戴ければ幸いです。

【 発注申込書 】

ファックス送信先 075-494-1135 (表紙不要)

施設名	
追加注文数 50部単位でお申ください	()部 × 30円 = 合計 _____ 円
住所	〒
電話番号	
ご担当者名	
※備考	

※発送先を変更する場合は、備考欄に送付先(郵便番号・住所・お名前等)をご記入ください。その際は、請求書送付先の指示もお願いします。

■介護保険制度が強行されてから7年が過ぎました。戦後60年築いてきた老人福祉と公的責任は投げ捨てられ、コロコロと変わる制度、重くなるばかりの負担に、高齢者・家族と国民はとまどいと怒りを広げています。

■2009年には、3回目の介護報酬改定や制度の見直しが予定され、30歳からの保険料徴収、利用者負担2割への引き上げ、軽介護者(要支援・要介護1)の保険給付切り捨てなどが検討されています。

■また、来年(2008年)には後期高齢者医療制度が創設され、保険料負担と自己負担の引き上げが行われます。

■相次ぐ介護報酬の切り下げで特養や在宅福祉の経営はがけっぶちに追い込まれ、低賃金ときびしい仕事の上に働く意欲を奪われた高齢者福祉・介護をささえる人材の不足は、本当に深刻です。

■その一方で、指定打ち切りとなったコムスンなど一部営利企業の悪質な不正が次々と明らかになり、福祉の市場化、営利化の問題も浮き彫りになってきています。

■日本の高齢者福祉のこれからについて、真に安心を託すことのできる老後保障となるよう、あらためて真剣な国民的議論を広げること呼びかけるものです。

**安心の老後をささえる高齢者福祉・介護保障は、
このままで本当に良いのでしょうか?**

戦後60余年、新しい憲法のもとで、
人として生きる権利と暮らしを守る取り組みを広げて、
世界「の長寿社会をつくりあげた日本の
高齢者福祉の現状とこれからを、一緒に考えてみませんか。

**「老後の安心をささえる」はずの高齢者福祉は
もうボロボロです。**